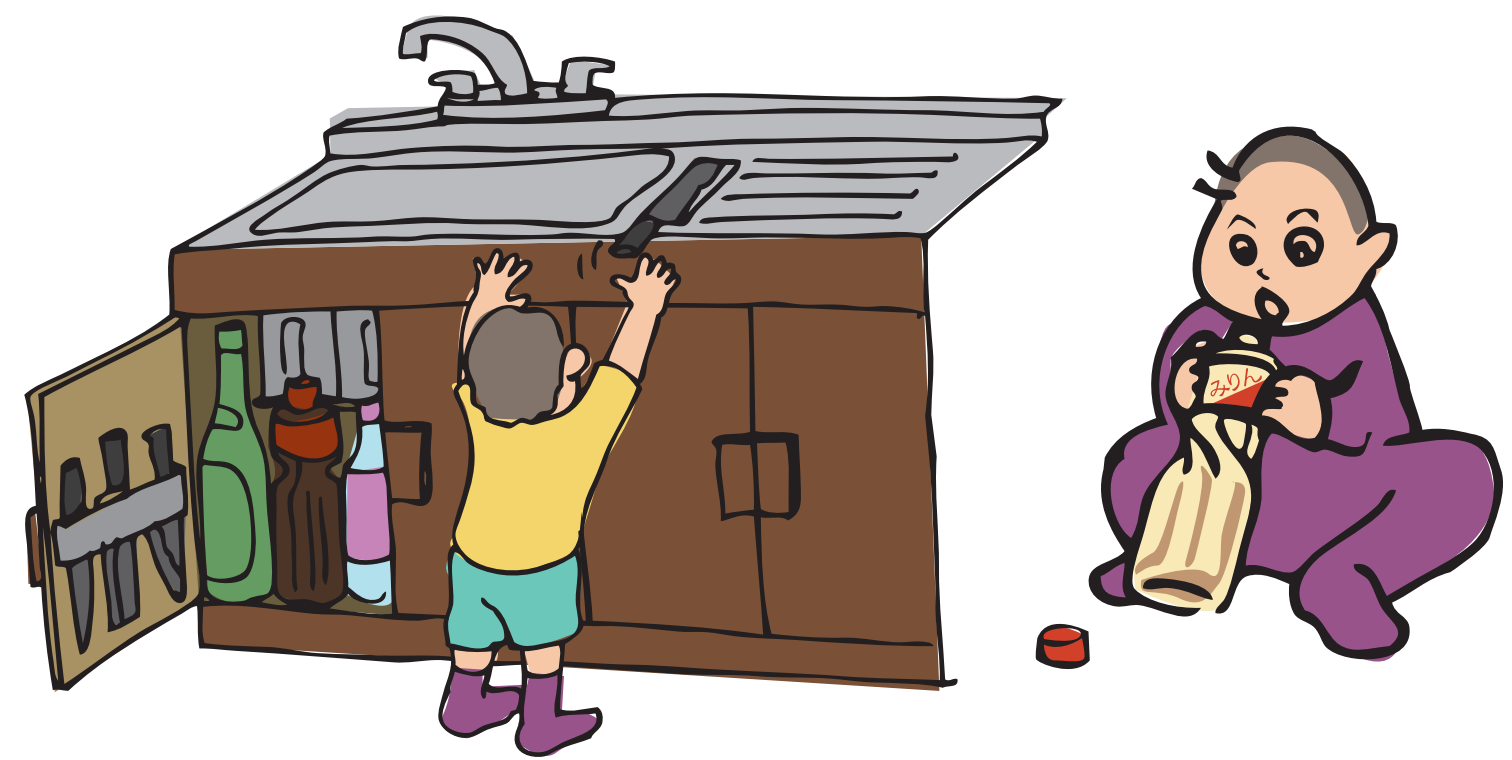
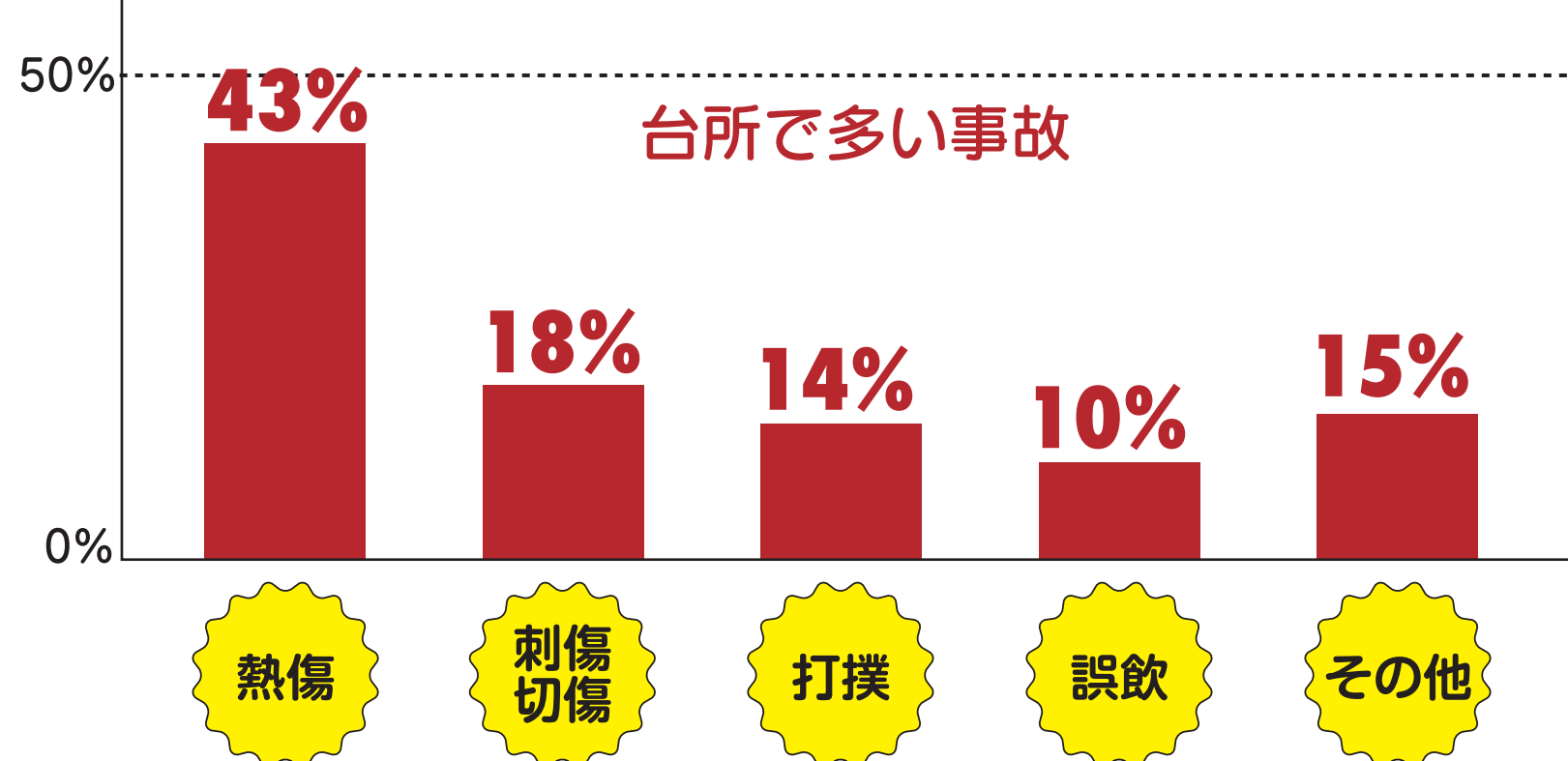


台所

居間に続いて家庭内の事故が多いのは台所です。火・水・包丁・コンロなど、子どもの興味をそそるものがいっぱい置いてあります。また、洗剤や薬品類、調味料など誤飲しそうなものも数知れません。特に、レンジから出したばかりの食器やコンロからおろしたやかん・鍋など、やけどにつながる事故が多くおきています。

よくおこる事故の種類



約95度

●急須からそそくお茶



約200度

●沸騰している鍋・やかんの表面



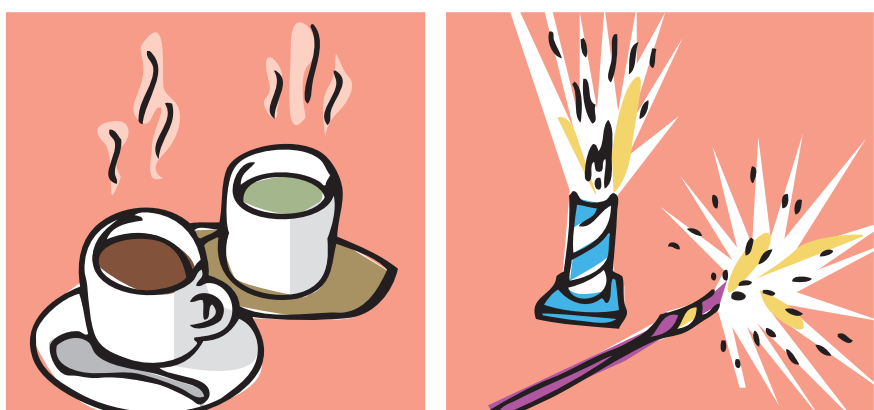
口に箸やフォーク、スプーンなどによる刺傷



熱い食べ物に触れてやけど

約85度

●飲みかけのコーヒー・お茶

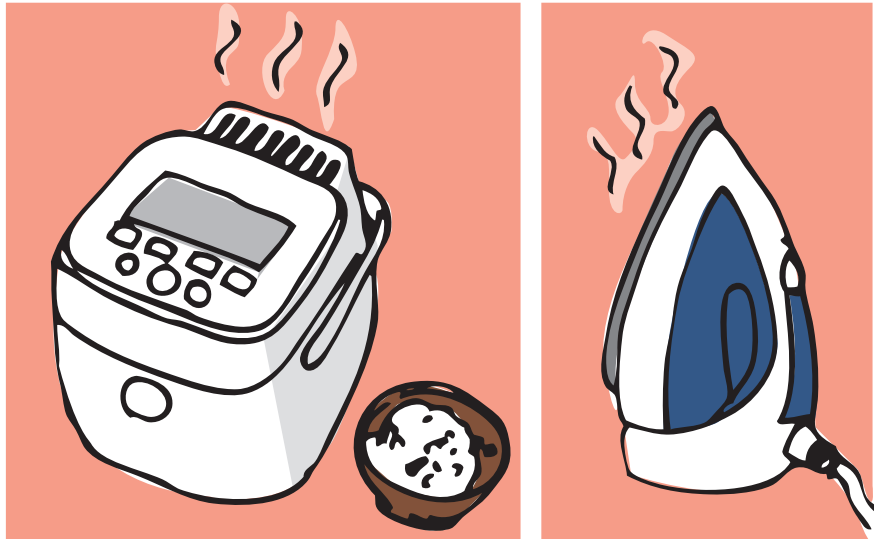


約200~700度

●花火

約95度

●炊飯器の吹き出し口

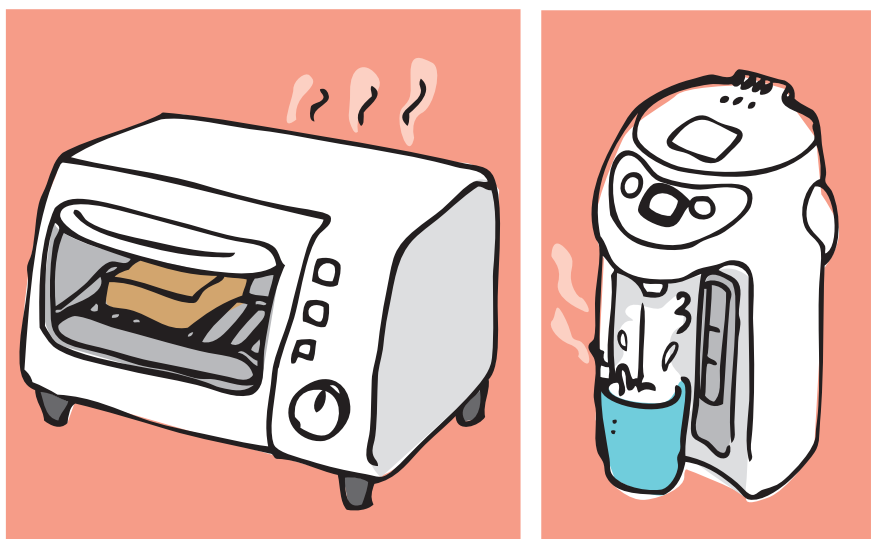


約90度

●消した直後のアイロン

約160度

●オーブントースターの表面



約100度

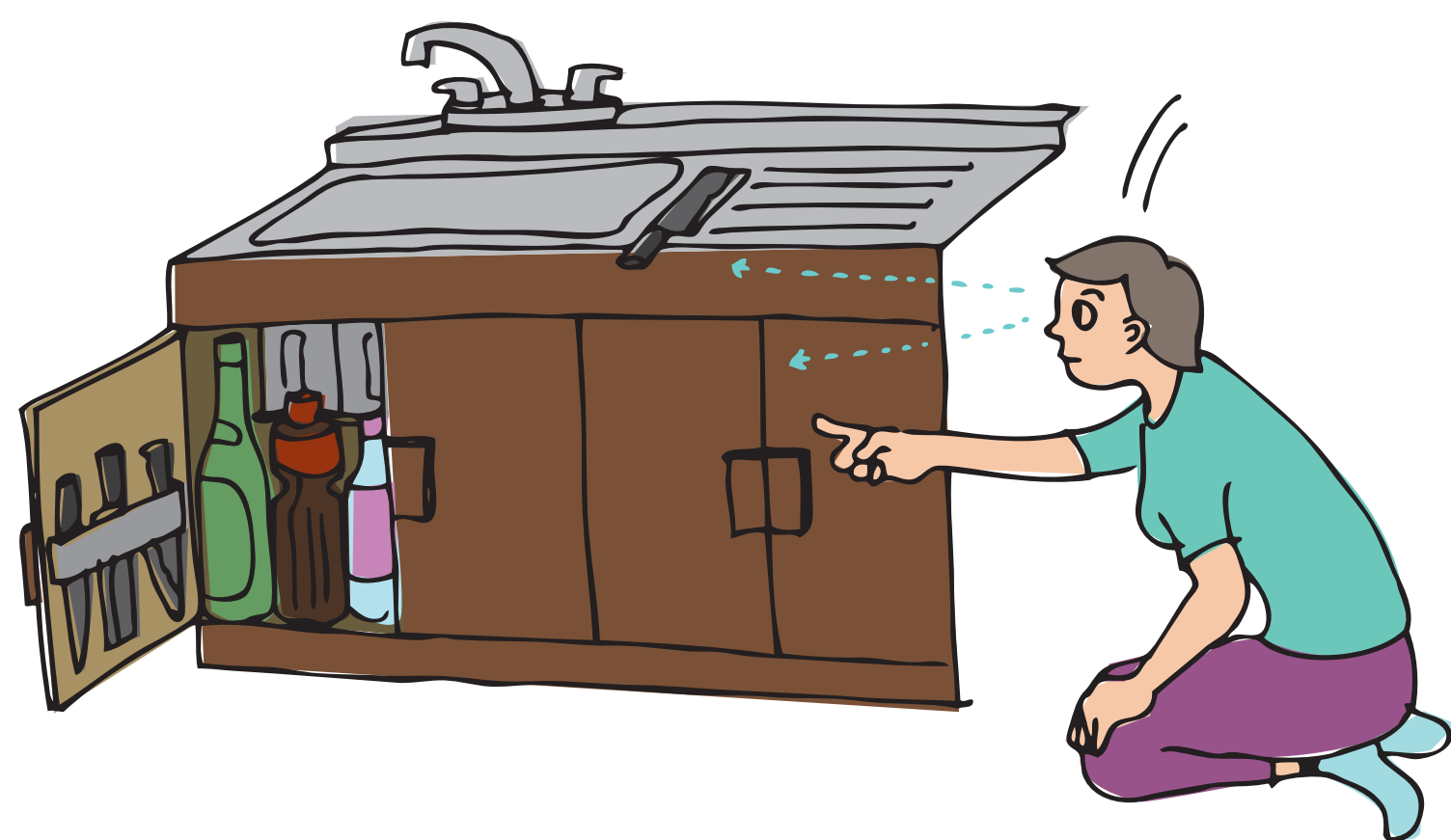
●ポットのお湯



事故を防ぐ工夫

子どもの目線で危険をチェックする!!

- 子どもの視野は大人と比べて半分程度です。
- 子どもは好奇心いっぱいです。台所はその好奇心をそそるものが沢山あります。
- 子どもの目線や子どもの気持ちで、チェックして、危険を予測し予防しましょう。



洗濯場

水が大好きな子どもは、洗濯機の中で音をたてて回る水にも大変好奇心をそそられ、つい中をのぞこうとします。口と鼻をおおうだけの水がわずか10cmあれば溺れる事故は起こります。洗濯カゴなど踏み台になる物を洗濯機の周りに置かないようにしましょう。

事故を防ぐ工夫

洗濯後は必ず水を抜く

万一洗濯機に子どもが誤って落ちた場合でも、水を抜いておくことで溺れる心配がありません。

洗濯機のフタをロックする

好奇心にかられて子どもが洗濯機の中をのぞけないように、市販の吸盤などを使ってロックしましょう。

おぼれる



- 洗剤などは高さ1m以上のところに保管場所をつくって置く。
- 使わない時はコンセントを抜いてカバーを。
- 洗濯物の中に赤ちゃんがもぐると窒息の危険も。
- 踏み台となるような物を置かない。